

式 辞

木々の芽ぶきに生命の躍動を感じる春がめぐってまいりました。

本日ここに、ご来賓の皆さん、保護者の皆様方のご臨席を賜り、令和3年度の入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであり、厚く御礼申し上げます。

さて、ただ今入学を許可した326名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、心より歓迎いたします。念願の高校で学ぶ機会を自らの手にすることにつながった喜びをかみしめている時かと思います。今日の喜びは、皆さんこれまでの努力の結晶であることは勿論ですが、その影には皆さんを慈しみ育ててくださったご家族や先生方、そして、地域の皆様方の愛情やご苦労があったことを忘れてはなりません。多くの善意や声援に深い感謝の気持ちをこれからも持つづけてください。

保護者の皆様、お子様のご入学誠におめでとうございます。今日のこの日まで、我が子の成長のために骨身を惜しまず養育されましたご労苦に、深甚なる敬意を表するものであります。

時代の変化、社会の変化に伴い、学校教育は大きく変わってきております。しかし、一人ひとりの生徒の自己実現を図り、次世代を担う人間を育てるという教育本来の役割にはいささかの変化もありません。それは全ての大人の責任であり、そのために学校と家庭が協力し、同じ思いで子どもと接し、育てることが必要だと考えます。学校との連携を密にしながら、ご家庭でも子どもと触れ合う機会を大切に、我が子の成長を温かく見守っていただきたいと思います。

松本深志高等学校は輝かしき歴史を誇る伝統校であり、150周年に向けて歩みを進めております。創立以来「自治」の精神を校是とし、生徒は互いに切磋琢磨しながら勉学に励むとともに、豊かな人間性を育み、人格の向上と、進路実現を図ってきております。創立の精神を引き継ぐ一方で、地域や時代の要請に応え、常に新しい教育も導入してまいりました。現在は県教育委員会の「未来の学校」の指定を受け、その研究実践を進めております。

さて、新入生のみなさん、憧れの深志高校で自分探しの旅の始まりです。

「アイデンティティ」という言葉があります。「自己同一性、身元、集団への帰属意識」などと訳されるきわめて抽象的な概念です。自分が何者であり、何をなすべきかという個人の心の中に保持される概念です。自分らしさ、あなたらしさの発見、それがアイデンティティの確立です。アイデンティティの確立を目指して、自分探しの旅をする、それが本校に入学した皆さんの仕事です。内に眠っている自らの才能を見つけるため、知識を増やし、友と交わり、幅広く何事にも本気で取り組み、そして自分を深く見つめる時間を持つください。

先のアメリカ大統領選挙で初めての女性の副大統領に選出されたカマラ・ハリスさんが、勝利演説で次のような句を引用しました。Democracy is not a state. It is an act. Democracyとは民主主義のこと。「民主主義は状態ではない、行動である。」と。つまり、民主主義は保障されて常にそこにあるものではなく、行動に移してこそ民主主義が行使される。

この言葉を聞くと、かの政治学者 丸山真男の書籍「日本の思想」に登場する「であること、とすること」を彷彿とさせます。立場や権利は、常にその行為をし続けることによってのみ保障される。権利が「ある」からと言って、それを行動で保とうとしなれば、すべて失ってしまっている場合があると言っています。

本日ここに皆さん深志高校生「である」という状態を手に入れました。しかし、今日からは、深志高校生「である」という状態に満足するのではなく、深志高校生として「行動する」皆さんに期待しています。何をすれば行動になるか。それを考える初日が今日です。失敗を繰り返しながらも、新たな道を求めて自ら行動を起こし、深志生「する」中で、新たな自分を探してほしいと思います。

ここには、様々な地域で育ってきた多様な仲間が集まっています。得意なことも、趣味も、考え方も、夢も違う、多様な仲間がそれぞれの光を放っている。自分よりもすごい人がいっぱいいる、非常に刺激的な空間です。こうした仲間と一緒に学ぶ、意見交換をする、議論を闘わす、外に目を向け自分の学びを外で試す、そんな姿勢を大切にしてください。

今の時代は、自分を伝えつつ、協力して何かを成し遂げる力、一緒に働く力が何よりも必要です。自分と意見が違う人と上手に付き合い、自分の意見を伝えながら相手の意をくみ、そして一緒に何かを作り上げる、みなさんのそんな姿を期待します。

未曾有の東日本大震災から10年余が過ぎました。当時5歳くらいで家族を失った人たちも皆さんと同じ高校生になります。予期せぬ新型コロナウイルス感染症によって大学での満足な学びができなかった人もいます。世界に目を向けると、今もなお紛争に苦しんでいる地域があり、学びたくても皆さんのように学ぶ環境が整わない子どもたちもいます。

いま、この地で学べる幸せをかみしめるとともに、学んだことを、どのように世の中のために生かしていくか、それがみなさんがここでこれから学ぶ意味です。

さあ、学びの舞台は整いました。新入生の皆さん、ここ深志高校において思う存分自分探しの学びを楽しんでください。素敵な自分を見つけてください。われわれ教職員一同、精一杯みなさんの学びを支え、応援してまいります。

以上、本日の入学式にあたり、新入生の皆さんが本校で有意義な学校生活を送られることを心から祈念し、式辞といたします。

令和3年4月6日

長野県松本深志高等学校長
塩野 英雄